



賀屋 幸治

- 北朝鮮の弾道ミサイル防衛システムの配備について

網谷 芳孝

- 米軍再編問題に関するこれからの大竹市の対処について
- 玖波駅西口の駐輪場設置または駐輪場料金について

大井 涉

- まちづくりと財源について（市内全域）
- 小方まちづくりで、公開されていない計画案の公表はいつ頃ですか。

山本 孝三

- 基地問題に対処する基本姿勢について
- コンパクトシティ策定・その構想と事業内容について

日域 究

- 大竹市からシルバー人材センターへの補助金は、2,989万円ですか。
- 連帯保証人は市営住宅入居者の絶対条件ですか。
- 栗谷町後原地区に隣接するメガソーラーの設計変更等に関して。

西村 一啓

- 地域力の向上に向け地域安全対策についてお尋ね致します。

藤井 馨

- 阿多田診療所の医師との10年契約が来年満了します。今後の取り組みについて伺います。関連質問を行います。

細川 雅子

- 大竹市の小児医療の現状と今後について

末広 和基

- 大願寺（現在小方学園・小方ヶ丘団地など）の、開発から売却に至る経緯について、販売価格等、議会議決された内容も含めてお尋ね致します。
- 行政裁量とは、行政行為をするに当たり根拠法令の解釈適用につき行政庁に許された判断の余地。とありますが、本件との関連は？

問 北朝鮮が核とミサイル開発を加速させている中、米国トランプ政権はこれまでの「戦略的忍耐」は終わったとして軍事的緊張が急速に高まっている。在日米軍基地がミサイル攻撃の標的との報道もあるが、現在、岩国基地周辺には、防衛システムのPAC-3（パトリオット迎撃ミサイル）は配備されていません。岩国基地の隣接自治体として、「深刻な脅威」に対して新たな弾道ミサイル防衛システムの配備を国に要請する必要があると思うが、見解を伺います。また、弾道ミサイルが発射されてから7〜10分で日本に着弾すると言われており、各地でJアラートを鳴らしての避難訓練が実施されているが、今後の対応を伺います。

北朝鮮の弾道ミサイル防衛システムの配備について



賀屋 幸治



迎撃ミサイル PAC-3

答 国に対しては、有事の際の市民の安全・安心の確保のため、いかなる事態にも対応できるようにお願いしていきたいと考えています。北朝鮮からの弾道ミサイル発射を想定した避難訓練の重要性は認識していますが、まずはしっかりと市民の皆さんに弾道ミサイル落下時の避難行動について、周知をしていかなければならないと考え、5月号の市広報とともに、避難啓発のチラシを配布し、ホームページでも案内をしています。今後も市内公共施設等への掲示やチラシの配布、自治会等を通じてのお知らせなど、あらゆる機会を利用して周知に努めます。



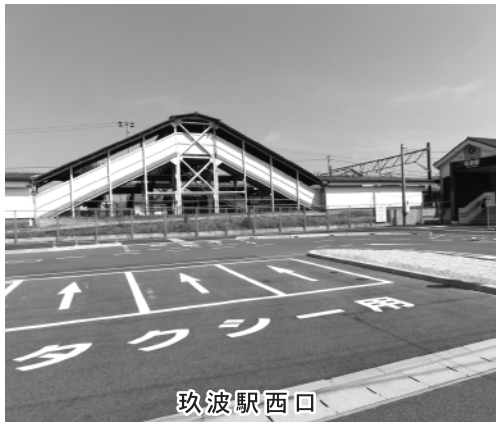
網谷 芳孝

米軍再編問題に対しこれからの大竹市の対応について

問 いよいよ、今年7月より来年5月にかけて艦載機の移転が始まりますが、これまでは安心・安全対策または再編交付金などに対し、要望・交渉など行ってきたと思われるが、これからは地域振興策にも力を注いではいかがでしょうか。見解を問う。

答 他の地域に代わり我慢を強いられる地域には十分な配慮が必要と考えます。今後も再編関連特別事業の充実、基地周辺地域の負担軽減や地域振興策、また、自治体の裁量で効果的な施策が実施できる恒久的な支援制度の創設をお願いしていきます。

玖波駅西口の駐輪場設置または駐輪場料金について



玖波駅西口

問 玖波駅西口の完成は地域住民としては、大変喜んでいらっしゃると思いますが、駐輪場がないことにより自転車の利用者にとっては大変な不便を感じております。駐輪場の設置に向けての考えと、岩国駅から広島駅までの間の駐輪料金は、大竹駅と玖波駅が一番高いことへの見解を問う。

答 玖波駅駐輪場は、現在、半分以上が空いており、新たな整備は難しいと考えます。利用者が増え整備の必要性が高まれば検討する考えです。大竹・玖波駅前の駐輪場は民間が管理運営しており、独立採算での安定運営が可能となる料金を設定していますので、ご理解をお願いします。



大井 涉

まちづくりと財源について
(市内全域) 問います

問 まちづくりは大事な事業です。30年先、50年先の本市はどのようなイメージを描いていますか。優先されるべきまちづくり事業とはどのような事業ですか。年次計画や財源も示してください。市民との共有されたまちづくりが行われてきたかお聞きします。

答 市の将来像「笑顔・元気 かがやく大竹」を実現するための施策・事業等が第五次大竹市総合計画です。良いまちにしたい、市民の皆様幸せで充実した人生を送ってもらいたいとの思いで、収入の範囲でしか物事を進めることができない行政の仕組のなかで、皆様の声を聞き、議論を重ね優先順位をつけてきました。

小方まちづくりで、公開されていない計画案の公表はいつ

問 旧小方小中学校跡地まちづくり構想は公表されました。しかし、同時に依頼した、小方新駅設置や市道整備計画はいまだ公表されていません。公表されない理由、今後公表されるとしたらいつ頃かお聞きします。

答 計画の平面プランは作成しましたが鉄道事業者等との協議はこれからであり、流動的な計画の公表は地権者等の皆様にも混乱やご心配をおかけします。関係機関の了解が概ね得られた段階で公表可能と考えます。





山本 孝三

基地問題に対処する
基本姿勢について

問 北朝鮮の核開発・ミサイル実験などの挑発行為は、極東における軍事緊張を高め、岩国基地もまた、際限なく強化されています。
軍事力の競い合いではなく、外交努力による平和追及の道こそ、今、政治に強く求められていると思います。市長の考えを伺います。

答 本市にも、弾道ミサイル攻撃の被害が及ぶのではないかとのご心配については、私も察じています。市民の安全・安心の確保のため、最大限の対応を取っていただくよう、国にお願いしていきます。

コンパクトシティ策定。
その構想と事業内容について

問 住みよい町づくりとコンパクトシティの計画策定・実施は、整合性があるのか。都市再生特別措置法は、都市機能誘導区域と居住誘導区域を定め、公共施設の統廃合、税負担等の増大などが懸念されます。
住んでいる地域の住民の日常生活の利便性が失われる心配はありませんか。説明を求めます。

答 本市の場合、沿岸部の平地に、大竹、小方、玖波の3地区があり、駅や市役所を中心に商業施設や医療、公共交通、住宅などがまとまって立地しており、ある程度コンパクトに集約されています。この3地区を地域拠点とし、それぞれの特徴を生かしたまちづくりが基本となることに大きな変更はありません。



岩国基地への着陸体勢に入る F-35B
(米海兵隊ウェブサイトより)



日域 究

シルバー人材センターに対する
補助金について

問 委託料と補助金の違いをお尋ねします。また、市の財政にも有利とは、校庭芝生維持経費では27年に委託料を補助金にしたことで国の補助金と同額入るから、前年の200万円が153万円に減せたと解せますか。

答 委託料は自治体の事業を特定の団体等に行わせる場合に支払うもので、補助金は特定の団体等が行う事業を補助するものです。平成26年度の校庭芝生維持管理委託料は204万3千円で、運営補助に切り替えた翌年度は業務拡大分を上乗せし153万円です。市の運営補助金と同額の国庫補助金が入るため、シルバー人材センターの運営強化としては、市の支出の倍額の効果があります。

嵐谷のメガソーラーについて

問 栗谷町に接する山(写真)で工事が進んでいます。森林法の許可は廿日市市ですが、隣接自治体として大竹市も意見を求められます。しかし、この土地は市長の親族が太陽光発電業者に売却したもので、市長は利益相反的立場でもあります。単に市長が市を代表して意見を言うのではなく、せめて議会にも、その内容を伝えて欲しいと思います。

答 設計変更について廿日市市から意見照会がありましたので、本市への影響等について関係部署の意見をとりまとめ、回答する予定です。



栗谷町後原地区から嵐谷メガソーラーを臨む



西村 一啓

地域力の向上に向けた地域安全対策について

問 ①地域住民の安全・安心な暮らしを地域ぐるみで推進する取り組みの中、特に地域の高齢者が安心して暮らすための情報伝達について問う。

②市内の中山間地域にクマの出没が六日間にわたりありましたが、このような情報伝達を、地域の高齢者へ明確に伝える対策等について問う。

答 ①民生・児童委員や自治会の協力を得て、緊急時の情報伝達を支援する仕組みを作っています。また、社会福祉協議会も地域に向いて、きめ細かな支援体制の構築を進めています。地域で安心して暮らすためには、人と人のつながりや隣近所同士の助け合いが重要であり、地域力を高めるために地域住民主体の



「いきいき百歳体操」グループの立上げを支援しています。
人と人とのつながりの場、支え合う関係への発展を期待しています。
②クマの目撃情報があった場合には警察署や猟友会と現地をパトロールし、防災行政無線や防災メールで注意を喚起します。また、小中学校や自治会への情報提供に努めています。チラシの作成・配布や防災行政無線での注意喚起を自ら行った自治会もあり、地域を自分達で守る積極的な取組を大変心強く感じています。



藤井 馨

阿多田診療所の契約満了後の取り組みについて伺います。

問 阿多田診療所は平成20年7月1日に林医師と契約を交わし来年6月30日に契約満了の10年を迎えます。その後の阿多田診療所の運営をどのように進めていくのか伺います。林医師は、着任以来、診察を行いながら僻地診療の多くの課題を改善してこられました。島民は安心して生活が出来たと思います。しかし、林医師も10歳年を召された訳で、いつか、リタイアする日が参ります。若い医師が島嶼部医療の志を持たれて来られても、御家族の生活のことや子どもさんの就学のこと、看護師や受付で働く方のことも同時に考慮しなければなりません。

また、島で緊急患者が発生した時の行政の取り組みについて伺います。

答 契約終了後の阿多田診療所のあり方について、自治会や診療所運営医師の意向確認などの調整を行っています。島内に医師が常駐することで、急患の初期救急や救急搬送の調整などの迅速な対応が可能です。また、在宅医療や地域包括ケアへの移行の核は地域の医療機関であり、「離島での医療の確保」のためにも重要な施設と認識しており、これらを総合的に考え、あり方を検討します。
急患発生時の対応は、機会をとらえ周知してきましたが、先般、対応方法に迷ったとの報告を受け、診療所医師や自治会と協議しました。前回の周知から年月が経過し、対応方法を知らない方も居られるため、新たにチラシを作成し、皆様に周知することにしています。





細川 雅子

大竹市の小児医療の現状と今後について

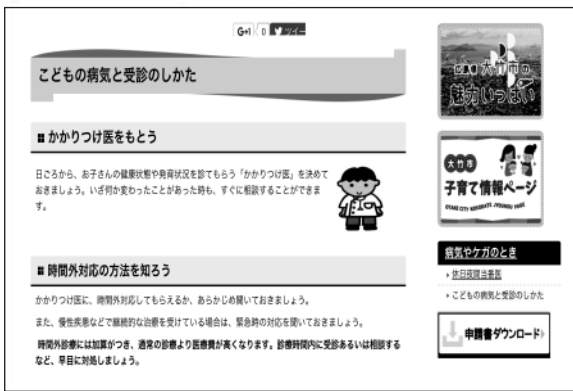
問 西医療センターでの夜間の小児の救急受診が、これまで20時までであったものが6月1日より17時15分となりました。小さなお子さんのいる子育て世代にとって夜間に受診できる医療機関は、病児保育と同様に子育てにおけるセーフティネットです。子供が急病になった時、最初に掛かりつけ医に、次の手段として近くに診ていただける病院があるとどんなにか心強いことでしょうか。

また、本市が定住促進を進めるうえで、小児医療の充実が欠かすことができないと考えます。

一日も早く、西医療センターでの夜間の診療が再開できることを願って、本市の小児医療の現状と課題、および夜間診療についてお考えを伺います。

答 市内には、小児科がある医療機関が広島西医療センターを含めて6施設あり、そのうち、小児科を専門とする医師が診療している医療機関は4施設です。

市内の医療機関の診療時間の終了後は、広島県及び山口県が指定する医療機関を受診することになり、時間的にも経費的にも負担を伴います。広島西医療センターで20時まで診療できた今までの救急診療体制は、子どもを持つ家庭への安心につながっていたものと考えます。これからも、一般小児科の医師の増員や、小児救急の診療時間の延長をすみやかに行っていただけるよう、広島西医療センターへの要望等を行っていきたく考えています。



市ホームページ「子育て情報ページ」より



末広 和基

大願寺地区、開発初期から、売却に至る経緯についてお尋ね致します。

問 過去の議会及び関連委員会議事録や当初の訴状・地裁判決文・控訴理由書・高裁判決文などを参照しても理解できません。ご説明願います。

答 昭和62年頃に大竹港東栄地区整備事業が計画され、この事業とセットで計画された大願寺宅地造成事業は、バブル景気の崩壊もあり土の搬出が終了した平成17年度末には約127億円の借入金が残り、巨額の債務を抱えることとなりました。

平成20年から3回行われた入札では売却できず、小方学園の開校に間に合わせるべく行った平成23年11月の4回目の入札で、ようやく1グループからの応募があり、仮契約となりました。

同年12月8日の議員全員協議会では、売り渡しの必要性、債務返済、税収見込、予定価格の算定方法などを説明しています。

同日12日の生活環境委員会では、不動産鑑定評価額が約7億円、予定価格は将来の地価を想定して算出した3億3千777万8千342円であることを説明し、賛成多数で可決すべきものと決しました。同日の本会議でも、本件売却価格が不動産鑑定評価額の約半額となることを認識した上で、その妥当性やまちづくりの観点を含めた審議を経て、可決されました。

また、平成24年12月14日の本会議において平成23年度土地造成特別会計決算は、本件の売却議決については、不動産鑑定評価額の半額ではあるが、売り渡しの妥当性、必要性から賛成などの意見が多数を占め、承認されました。



大竹港（あこがれみなと）